

中央地区学校教育の重点

1 学校教育目標を具現する 教育課程の編成と実施

(1) 創意工夫を生かした特色ある教育活動

◎教育課程編成のねらいを家庭や地域と共有し、**組織的かつ計画的**に全教育活動の質の向上を図る。

- ・教育課程における各教育活動の位置付けを意識して、カリキュラム・マネジメントを機能させる。
- ・各校務分掌の取組状況を、諸調査等の内容と関連付け、多様な側面から評価する。

(2) 共生社会の形成に向けた特別支援教育

◎**子どもの困難さに対応し、互いの個性を認め合い、支え合う関係づくり**に努める。

- ・通常の学級では、ユニバーサルデザインの考え方を考慮するなどして、基礎的環境整備を進める。
- ・特別支援学級では、子どもの成長や変容を適切に把握し、特別の教育課程を編成する。

(3) 自助、共助、公助の実現を目指す安全教育

◎情報を正しく判断し**自他の安全を確保**することができるよう、教育活動全体を通じて取り組む。

- ・地域や学校の実情に応じて、各教科等の安全に関する内容のつながりを整理する。
- ・保護者や地域住民、関係機関などの協力を得て、防犯・交通安全・防災等の取組を実施する。

(4) 育ちや学びをつなぐ学校間・校種間連携

◎子どもに対する**一貫性のある教育**を推進する。

- ・保育者と小学校教員が、幼児期の子どもの成長を共有し、スタートカリキュラムを見直す。
- ・小・中学校が連携して取り組む内容を、伸ばしたい子どものよさに着目して精選する。

2 思いやりの心や たくましい心と体の育成

(1) 心のかよう生徒指導

◎自己指導能力を育成し、**全校体制**でいじめ、不登校等の未然防止に取り組む。

- ・学級担任や教科担任など、複数の教職員で子どもを多面的・総合的に理解する。
- ・自校における生徒指導の重点事項を、日常の授業づくりや学級づくりに反映させる。

(2) 心を育てるふるさと教育

◎地域に根ざしたキャリア教育の視点を踏まえ、**体験的で総合的な教育活動の充実**を図る。

- ・各活動での学びを将来の生き方につなげて考える手立てとして、キャリアノート等を活用する。
- ・子ども自身がふるさとについての学びを相互に関連付け、自信や誇りを新たにできる場を設定する。

(3) 心に響く道徳教育

◎**教育活動相互の関連**を明確にした計画のもと、豊かな体験や日常的な指導などを通して道徳教育の充実を図る。

◎**道徳的価値**に向き合い、自己を深く見つめることができる授業を展開する。

- ・別業の意義を再確認し、自校で重点化した内容項目について手立てを明確にして指導する。
- ・多様な考えを生かしながら、道徳的価値や生き方について、子どもとともに捉え直す。

(4) 心と体の健康づくり

◎体力の向上や食育の推進に関する指導などを、全校体制で**計画的、継続的**に行う。

- ・運動の楽しさや喜びを味わうことができる授業づくりに努め、運動習慣の確立につなげる。
- ・食に関する指導について、目標や活動の様子などを家庭や地域と共有し、連携を深める。

3 資質・能力を育む各教科等の指導

(1) 確かな学力の定着を図る指導

- ◎単元や題材，授業における**指導のねらいを明確**にする。
- ◎基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ，これらを活用して課題を解決するために必要な思考力，判断力，表現力等を育み，**主体的に学習に取り組む態度**を養う。
- ・子どもの学びに照らして学習指導要領の目標及び内容を理解する。
- ・試行錯誤の過程を重視した問題解決的な学習を，教科の特質に応じて実践する。

(2) 個に応じた指導

- ◎子どもの**実態に応じた指導方法の工夫改善**を進める。
- ・一人一人の学ぶ速さや学びの進め方などに適した教材・教具を提供し，学習状況に応じて指導する。
- ・子どもが自分にふさわしい方法で学習を進められるよう，学習形態等を柔軟に取り入れる。

(3) 一人一人の学ぶ力を伸ばす評価

- ◎適切に設定した評価規準に基づいて，学習の実現状況を把握し，**指導の改善**に生かす。
- ・自己評価や相互評価の場を生かして，子どもが自らの学習を調整することができるようにする。
- ・問題解決の過程で学習状況を捉え，発問や指名などの指導の手立てを見直す。

4 教職員一人一人の力量と 学校の組織力の向上を図る研修

(1) 資質能力を高める自己研修

- ◎**適切な研修課題**を自ら設定し，具体的な方法を明確にして研修に努める。
- ・「秋田県教職キャリア指標」のキャリアステージと校務分掌に応じる。
- ・研修課題に対する取組を記録に残すなど，力量を形成する過程を客観的に振り返る。

(2) 自校の教育課題の解決を図る校内研修

- ◎全教職員で，学習指導要領の趣旨及び内容について**実践を通じた研修**を積み重ねる。
- ・多様な専門性や経験をもつ教職員が，互いに学び合うことで同僚性を高める。
- ・一人一人が研修の計画や実施に参画する機会をもつなど，協働して取り組む体制を構築する。

(3) 社会の変化に即応した研修

- ◎**現代的な教育課題**について，地域・関係機関等と連携して研修を進め，自校の教育活動の充実に努める。
- ・操作体験から得た気付きをもとに，ICTを活用した授業づくりの可能性を探る。
- ・再生可能エネルギーや人権など，自校と地域の実態に応じた課題に焦点化する。

◎：重点事項

特に重視する内容は，**太字**で示しています。

・：具体的実践例

重点事項の**太字**部分を具現している事例や手立てを取り上げています。